

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年10月4日(2007.10.4)

【公表番号】特表2003-507364(P2003-507364A)

【公表日】平成15年2月25日(2003.2.25)

【出願番号】特願2001-516900(P2001-516900)

【国際特許分類】

A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	9/12	(2006.01)
A 6 1 P	13/12	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/02	(2006.01)
A 6 1 P	37/06	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 0 7 K	14/715	(2006.01)
C 0 7 K	16/28	(2006.01)
C 0 7 K	19/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	37/02	
A 6 1 K	39/395	U
A 6 1 P	9/10	
A 6 1 P	9/12	
A 6 1 P	13/12	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	37/02	
A 6 1 P	37/06	
A 6 1 P	43/00	1 0 5
C 1 2 N	15/00	Z N A A
C 0 7 K	14/715	
C 0 7 K	16/28	
C 0 7 K	19/00	

【手続補正書】

【提出日】平成19年8月6日(2007.8.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 薬学的に受容可能なキャリアおよび以下：

(a) 配列番号1のアミノ酸残基1～51に記載された配列と少なくとも80%同一であるアミノ酸配列を含むポリペプチド；

(b) 配列番号1に対して指向された抗体；または

(c) 配列番号1のアミノ酸残基8～41に記載されたアミノ酸配列を含む、ポリペプチド、を含む薬学的組成物。

【請求項 2】 哺乳動物における自己免疫疾患、B 細胞のリンパ球増殖障害または炎症を処置するための薬学的組成物であって、該薬学的組成物は、薬学的に受容可能なキャリアおよび以下：

(a) 配列番号 1 のアミノ酸残基 1 ~ 51 に記載された配列と少なくとも 80 % 同一であるアミノ酸配列を含むポリペプチド；

(b) 配列番号 1 に対して指向された抗体；または

(c) 配列番号 1 のアミノ酸残基 8 ~ 41 に記載されたアミノ酸配列を含む、ポリペプチド、を含む薬学的組成物。

【請求項 3】 請求項 2 に記載の薬学的組成物であって、ここで前記ポリペプチドが、配列番号 1 のアミノ酸残基 1 ~ 51 に記載されるアミノ酸配列と少なくとも 90 % 同一であるアミノ酸配列を含む、薬学的組成物。

【請求項 4】 前記ポリペプチドが、配列番号 1 のアミノ酸残基 1 ~ 51 に記載されるアミノ酸配列を含む、請求項 3 に記載の薬学的組成物。

【請求項 5】 前記ポリペプチドが、免疫グロブリンの Fc ドメインをさらに含む、請求項 2 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の薬学的組成物。

【請求項 6】 前記免疫グロブリンが IgG である、請求項 5 に記載の薬学的組成物。

【請求項 7】 前記免疫グロブリンがヒト免疫グロブリンである、請求項 6 に記載の薬学的組成物。

【請求項 8】 前記薬学的組成物が、哺乳動物における B 細胞増殖を阻害する、請求項 2 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の薬学的組成物。

【請求項 9】 前記薬学的組成物が、哺乳動物における免疫グロブリン産生を阻害する、請求項 2 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の薬学的組成物。

【請求項 10】 前記薬学的組成物が、哺乳動物における樹状細胞誘導 B 細胞増殖を阻害する、請求項 2 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の薬学的組成物。

【請求項 11】 前記哺乳動物がヒトである、請求項 2 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の薬学的組成物。